

氏 名 堀 端 眞 彦



所 属 ・ 職 名 生活科学教育講座（金属加工）・教授

研究室電話番号 0 7 4 2 - 2 7 - 9 2 3 8
（ダイヤルイン・FAX 兼用）

電子メールアドレス horihata@nara-edu.ac.jp

最終学歴及び学位 早稲田大学大学院理工学研究科博士後期課程単位取得退学（1986）
工学博士（早稲田大学 1988）

所 属 学 会 等 日本産業技術教育学会，日本塑性加工学会，日本機械学会

専 門 分 野 金属加工

研究と教育について

研究テーマ：「難加工材料の加工法および加工特性」，「魅力ある金属加工教材の開発」

金属は我々の生活ではたいへん重宝に使われています。また，金属元素は生理的にも重要な役割を果たしています。有史以前から使われている金，銀などからごく最近使われたチタン合金まで，どのような性質を持っているのか，身近な金属製品はどのようにして造られているのか，どう扱えばいいのか，などを知っていると得をすることもあります。ものづくりを通して，目的，構想，機能，加工法，使用法，などを考え，まとめ，実際につくって使うことはマネジメントの基礎となるものです。金属はいきものですが，扱う人間が正しい扱いをすれば絶対に裏切ることはありません。

主 な 研 究 業 績

- ・ Effect of surface imperfections on the ductility of pure chromium, Journal of Materials Science Vol. 30, 1105-1110 (1995)
- ・ リサイクル促進のためのアルミニウム空缶の圧縮方法，奈良教育大学教育実践研究指導センター研究紀要 No. 6 15-22 (1997)
- ・ Isothermal Rolling of Aluminum Alloys, Processing and Fabrication of Advanced Materials VI, Vol. 1, 83-87 (1998)
- ・ 奈良県内中学校における金属加工領域の履修状況と工具・設備の調査研究，奈良教育大学教育実践研究指導センター研究紀要 No. 7 47-53 (1998)
- ・ ショットピーニング加工を技術教材へ応用するための基礎研究，奈良教育大学教育実践研究指導センター 研究紀要 No. 9 89-94 (2000)

主な授業担当科目

コンピュータ・デザイン入門(科学情報教育コース)，金属材料学(物質情報専修)，材料加工学(物質情報専修)，金属工作理論(技術教育履修分野)，金属工作実習(技術教育履修分野)

学 会 活 動

社 会 的 活 動

講 演 の テ ー マ